

3年生学年便り

豊中市立第一中学校 74期生

NO.17 2020. 12. 15(火)

※この「3年生学年だより」は「豊中市立第一中学校ホームページ」でもご覧いただけます。

2学期のテストがすべて終わりました。

1, 2年生なら、学年末テストは2月の終わり、三者懇談さえ終われば、クリスマスやお正月を含めた楽しい冬休みを待つばかりとなります。

でも、3年生はそうはいきません。各教科の講評を読んで、次に備えてください。今日は午前中で終わりです。冬休みの学習計画を立てましょう。



各教科の講評

教科	講評
国語	今回は「三大歌集の比較」をはじめ、覚えていれば答えられるけれども、覚えていなければどうにもならない問題が多かったため、勉強量によって結果が分かれました。暗記をがんばれば、いつも良い結果が得られるわけではありませんが、やらなければ絶対に良い結果は得られません。努力しましょう。
社会	今回のテストは決して難しかったわけではありません。授業でも学年だよりでも紹介したようにナルホド・ザ・ジャンププリントだけに頼らずノート、教科書をしっかり見て理解しておくようにあなた達に伝えておいたはずですが、日々の授業を大切に、しっかりと家で復習をしておいたら納得のいく成績が取れたと思います。しかし、いまだに計画的かつ十分な時間をかけて学習をやっていない人たちが多くことには心配です。ノートをしっかり見て何度も書いて、教科書の資料等を何度も書いて工夫をして学習をしている人もたくさんいます。今回、納得のいかない成績を取った人は今一度自分の学習方法を振り返り次回のテストに備えてください。同じ過ちを繰り返してはいけません。次回の学年末テストでも教科書、ノートをしっかりと学習しておかないと解けない問題を出題します。決してナルホド・ザ・ジャンププリントだけに頼らないように、しっかりと学習して納得のいく成績を取ってください。
数学	授業や問題集の問題を少し形を変えたり、数字を変えたり方向を変えたりして、出題しているものが多いです。普段の学習から早めに問題集を済ませ、たくさん問題に当たってほしいです。テストの直前だけより、少し前に学習の山を持ってきて、あいだをあけてもう一度やると学習の効果がでてきます。進路を高校と考えている人は、入試にむけて過去問を1月13日までに時間をはかって取り組んでください。何度もやると出題傾向や解くべき問題がわかります。頑張ってください。

理科	基本的な問題中心のテストでした。仕事の大きさの求め方身につけておきましょう。天体では、時刻（昼と夜）、方位・高度をとらえてからがスタートです。ステップアップで問題にのぞんでいきましょう。普段観ている星の動きや見え方が、なぜそうなるのかなど理由をとらえて観られるようになるといいですね。	
英語	中間テストに比べると、範囲は狭かったですね。関係代名詞という入試にもよく出るところです。3年間で学習する最後の文法になります。狭かったですが、一番複雑なところです。理解できていない人は、今までの文法で理解できていない所があるはずですが、be動詞や3単現や、助動詞、前置詞…いま授業で取り組んでいる文法チェックテストを自分で分析し、どこが弱点なのか？どこから分かっていないのか？今こそ復習する時です。 知識に関する問題…ラボ、プリント、テスト問題の見直しをしましょう。 理解に関する問題…長文は力がついてきています。まずは、読んでみることです。また、問題文から読むことも大切です。単語は基本習っていますから、分からない単語は抜き出して、ノートにまとめると良いです。リスニングは音読や教科書のCDなどで練習しましょう。 表現に関する問題…3分作文での積み重ねです。学年末テストは幅広く出題します。これは練習すると書けるようになります。冬休みに今までのノートを見直して練習しよう。	
保健体育 男子	分野をかなり絞ったテストでした。 勉強したことが伝わる解答が多かった中、いまだに取り組みの形跡が見られない人が数名おり、大変残念に思います。いま変わらなければ、なにも変えられない。	
保健体育 女子	保健は広範囲でしたが、広く勉強できている人が多く、取れていました。 体育は日頃の授業でポイントなど伝えてきているため、聞けていない人は取れていませんでした。問題文を最後まで読めていない人が多く、もったいない減点が目立ちます。内容を理解できているだけに惜しいところです。	
技術・家庭	技術	範囲がそれほど広くないこともあり、全体的によくできていたと思います。今回の出題範囲になっていた2進数は、高等学校の情報科の授業で学習する内容の予習になり、また、Excelの基本的な操作は、社会人にとって必須のスキルであると考えます。 授業で学んだことを、「テストで点数をとるためのもの」とするのではなく、「実際に活用できる知識」としていきましょう。今後のコンピュータ実習も、まずは試行錯誤しながら操作してみて、コンピュータで出来ることを1つでも増やしていきましょう。
	家庭	授業への取り組みや、テスト直前の復習も丁寧に行った人が多かったのかよくできていたと思います。消費生活の内容は行動範囲が広がるにつれ活用する場面が増えていきます。テストが終わったら終わりではなく、実際の生活の中でも活かすことができるように覚えておきましょう。